



『糖尿病と歯周病』



しもじ内科クリニック院長
下地 栄壮



糖尿病と歯周病が、密接に関係することが分かって来ました。糖尿病があると歯周病を発症しやすく、悪化しやすくなり、逆に歯周病があると糖尿病を発症しやすく、悪化しやすくなります。

「**歯周病**」は、歯を支える歯茎などに炎症が起こる病気です。細菌の塊であるプラーク(歯垢)が、歯の表面に付着して歯茎に炎症を起こします。炎症が進行すると、歯と歯茎の間の隙間が広がって歯周ポケットができます。歯周ポケットに細菌が入り込んで増殖すると、歯を支える骨が破壊されて歯が抜け落ちます。歯周病は40歳を過ぎた頃から増え始め、55歳以上では半数以上の人にみられるとされます。

糖尿病が歯周病を発症しやすくする理由としては、

- 1、高血糖状態では唾液の分泌量が減って口の中が乾燥するため、唾液による殺菌や組織を修復する働きが低下して細菌が繁殖しやすくなる。
- 2、高血糖状態では細菌を貪食する白血球(好中球)の働きが低下する。

3、高血糖の状態が続くと、歯の周囲の血行が悪くなり組織が劣化する。

などいくつかの理由が考えられています。



逆に、歯周病が糖尿病を発症しやすくする理由としては、歯の周囲に慢性的に炎症が持続するために、体を守るために集まった特殊な細胞や様々な炎症物質が、インスリンの働きを妨げて血糖値を上昇させると考えられています。

糖尿病がある人の中でも、喫煙者や肥満がある人では特に歯周病が起こりやすいことが分かっています。糖尿病も歯周病も生活習慣病といえますので、禁煙や適度な運動を行い、食べ過ぎや飲み過ぎ(特に糖分の摂り過ぎ)に注意しましょう。

歯周病を治療すると血糖コントロールも改善します。歯茎から出血する、口臭がある、歯茎から膿が出る、歯がグラグラするなどの症状があれば積極的に歯科を受診し、歯周病の予防や治療に努めて下さい。



お知らせ

年末年始のお休みは、**12月30日(金)~1月3日(火)**とさせていただきます。ご迷惑をお掛けいたしますがご了承下さい。



しもじ内科クリニック(nico nico studio)

東区三苦3丁目2-49(福岡銀行美和台支店隣り)
TEL:092-605-6300